



総合型選抜・学校推薦型選抜

令和9年度入学者選抜要項



大阪大学

目 次

●大阪大学の教育理念と総合型選抜・学校推薦型選抜概要	1
●総合型選抜・学校推薦型選抜の主なスケジュール	2
●募集人員	3
●入学者選抜方法等	5
【文学部】総合型選抜	5
【人間科学部】総合型選抜	7
【外国語学部】総合型選抜	10
【法学部】総合型選抜	13
【経済学部】総合型選抜	16
【理学部】総合型選抜（研究奨励型）	18
【理学部】総合型選抜（挑戦型）	21
【医学部医学科】学校推薦型選抜	23
【医学部保健学科】学校推薦型選抜	25
【歯学部】学校推薦型選抜	27
【薬学部】学校推薦型選抜	29
【工学部】学校推薦型選抜	31
【基礎工学部】学校推薦型選抜	33
（付）	
アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	35
学部等所在地・配置図	47
学部等配置図	48

大阪大学の教育理念と総合型選抜・学校推薦型選抜概要

大阪大学の教育理念

大阪の市民社会の強い期待のもとに1931年に誕生した大阪大学は、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、次代の社会を支え、人類の理想の実現を図る有能な人材を生み出すことを使命と考えています。そのためには、学問の追求においては世界水準を目指すとともに、人類社会が抱える課題に絶えずまなざしを向け、その解決に取り組むという知的責任感を涵養することが大事だと考えています。

こういう観点から、大阪大学の教育は世界水準の深い専門性を極めるとともに、自由で闊達な市民的性格と批判精神を備え、社会から信頼される専門家の育成を目指しています。カリキュラムは、学部から大学院まで一貫して、深い教養と国際性が身につくように配慮されています。また、総合大学ならではの特性を生かし、多様な専門分野の相互交流を盛んにすることにより、地球環境問題に典型的にみられるような正解のない複雑な社会的課題の解決を目指し、専門知の協働をデザインする能力も身につけてもらいたいと考えています。

総合型選抜・学校推薦型選抜の基本方針

大阪大学は、21世紀のグローバル社会において活躍する人材を輩出するためには、従来の価値観や能力にとらわれない多様な資質を有する学生を受け入れることが重要であると考え、一般選抜とは異なる観点で「総合型選抜」又は「学校推薦型選抜」を全学部で実施します。

本選抜では、高等学校等で主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた将来のグローバルリーダーの卵である意欲的な人や、グローバル社会の下で活躍できる優秀な人材を、より多様に集積させることを目指します。具体的には、高等学校等の成績、大学入学共通テストの結果、国際バカロレア資格、TOEFL、口頭試問（面接）等を各学部のアドミッション・ポリシーに基づき組み合わせる他、必要に応じ、高等学校等での自由研究の活動、海外留学等の実績等を活用したり、志望理由書や志願者が所属する高等学校等の長が作成する志願者評価書を参考にしたりするなどして、多面的、総合的に合格者を判定します。

総合型選抜・学校推薦型選抜が期待する学生像

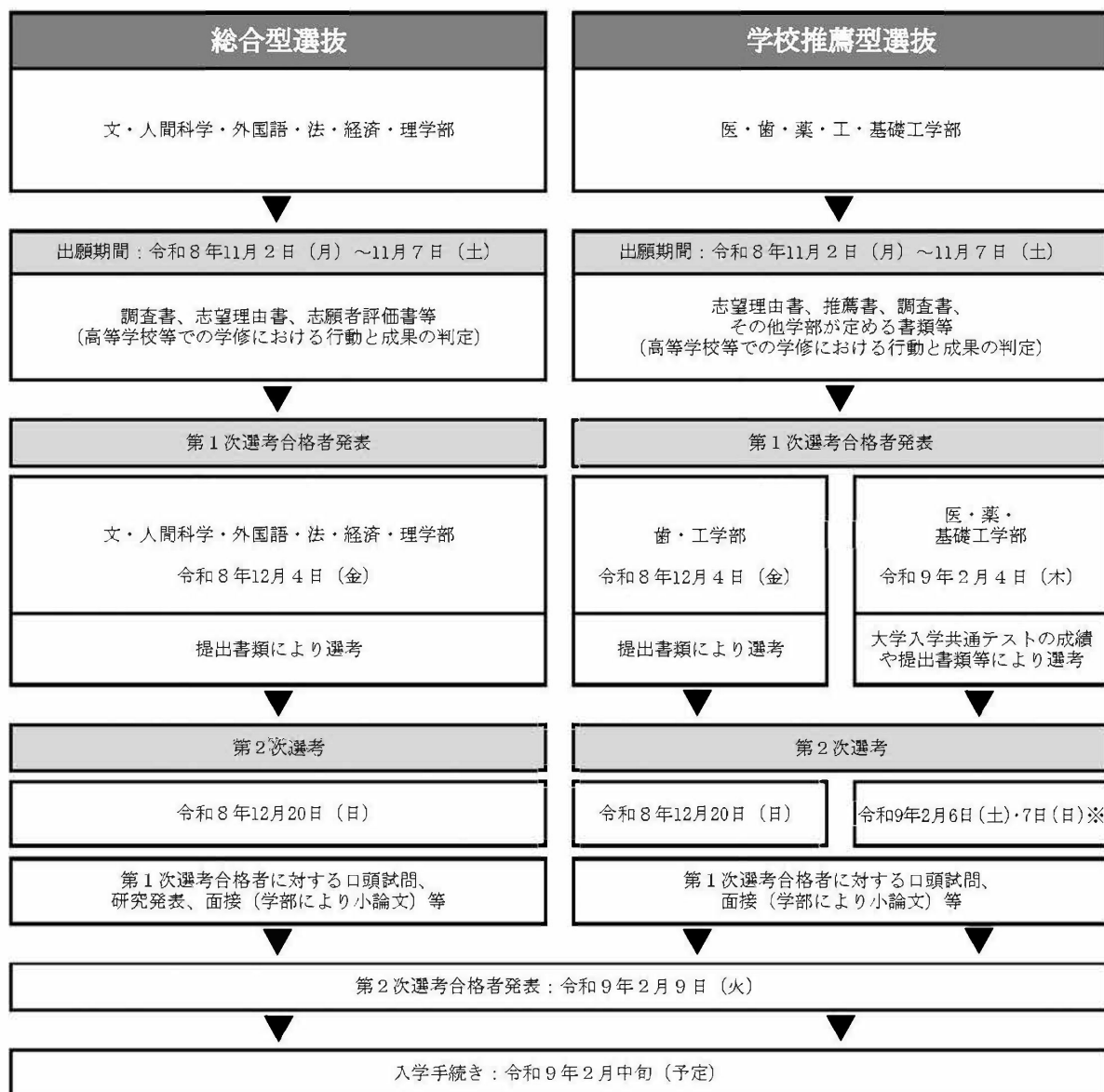
総合型選抜・学校推薦型選抜では、ここに述べた大阪大学の教育理念に共感し、単なる自己実現にとどまることなく、何のために学ぶのかを真剣に考え、それを実行できる学生の入学を期待しています。最先端の知を学び、自らも新たな知を生み出すとともに、それをどのように社会に活かすかという志と、その実現のためのスキルや知識も備えた人間、大阪大学が育成したいリーダー人材はこういう人なのです。

選抜においては、このような考え方を踏まえ、基礎的な学力については大学入学共通テストを利用して評価しますが、同時に高等学校等での学びの質や経験をきちんと把握し、総合的に評価することとしています。何よりも重視したいのが、「自分の頭で考える習慣」を持っているかどうかです。正解に素早くたどり着く能力よりも、一生を通じて出会うさまざまな問題に向き合い、考え抜く力が大事だと考えています。正解のない複雑な社会的課題に対して果敢に挑戦する志を持った学生の入学を期待しています。

総合型選抜・学校推薦型選抜の注意事項

- (1) 学部ごとに、総合型選抜、学校推薦型選抜のどちらかを実施します。
- (2) 本学で教育を受けるために必要な基礎学力の状況を把握するため、大学入学共通テストの受験を必須とします。また、志願者の能力、意欲、適性を多面的・総合的に評価します。
- (3) 志願者の基礎学力、能力、意欲、適性によっては、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (4) 志願者1人につき、総合型選抜、学校推薦型選抜のいずれか1つ及び1つの学部・学科・専攻・コースのみ出願することができます。総合型選抜・学校推薦型選抜の複数の選抜及び複数の学部・学科・専攻・コースに出願した場合は、全ての出願を無効とし受験を認めません。
- (5) 学校推薦型選抜において、推薦人員枠を超えて推薦があった場合は、当該校より推薦のあった志願者全てを無効とし受験を認めません。
- (6) 各学部が指定する令和9年度大学入学共通テストの教科・科目を1つでも受験しなかった場合、指定した順番で受験しなかった場合、指定した組合せで受験しなかった場合及び各学部が定める第2次選考を1つでも受験しなかった場合は、合格者判定の対象となりません。
- (7) 「総合型選抜・学校推薦型選抜」に合格し入学を予定する者に対して、必要に応じ、本学教員が入学までに取り組むべき課題等について指導します。

総合型選抜・学校推薦型選抜の主なスケジュール



※2月7日は医学部医学科のみ実施

募集人員

学 部	学 科 等	総合型選抜	学校推薦型選抜
文学部	人文学科	30	
人間科学部	人間科学科	15	
外国語学部	外国語学科	中国語専攻	4名程度
		朝鮮語専攻	2名程度
		モンゴル語専攻	2名程度
		インドネシア語専攻	2名程度
		フィリピン語専攻	2名程度
		タイ語専攻	2名程度
		ベトナム語専攻	2名程度
		ビルマ語専攻	2名程度
		ヒンディー語専攻	2名程度
		ウルドゥー語専攻	2名程度
		アラビア語専攻	3名程度
		ペルシア語専攻	2名程度
		トルコ語専攻	2名程度
		スワヒリ語専攻	2名程度
		ロシア語専攻	3名程度
		ハンガリー語専攻	2名程度
		デンマーク語専攻	2名程度
		スウェーデン語専攻	2名程度
		ドイツ語専攻	4名程度
		英語専攻	6名程度
フランス語専攻	3名程度		
イタリア語専攻	2名程度		
スペイン語専攻	4名程度		
ポルトガル語専攻	3名程度		
日本語専攻	3名程度		
法学部	法学科	17	
	国際公共政策学科	8	
経済学部	経済・経営学科	22	
理学部		研究奨励型	挑戦型
	数学科		5
	物理学科		10
	化学科	8	
	生物科学科	生物科学コース	4
生命理学コース		3	
医学部	医学科		5名程度
	保健学科	看護学専攻	10
		放射線技術科学専攻	6
		検査技術科学専攻	4
歯学部	歯学科		8
薬学部	薬学科		15

学 部	学 科 等	総合型選抜	学校推薦型選抜	
工学部	応用自然科学科		22	
	応用理工学科		25	
	電子情報工学科		17	
	環境・エネルギー工学科		8	
	地球総合工学科		12	
基礎工学部			一般枠	女性枠
	電子物理科学科		9	4
	化学応用科学科		9	4
	システム科学科		18	8
	情報科学科		9	4
合計		187	197	

※総合型選抜・学校推薦型選抜では、志願者の基礎学力、能力、意欲、適性によっては、学部・学科・専攻・コース（以下「学部等」という）の合格者又は入学手続者が、学部等の募集人員に満たない場合があります。その場合、その欠員は学部等の一般選抜前期日程の募集人員に加えます。

※その他、一般選抜前期日程募集人員の詳細は、7月下旬公表予定の「令和9年度大阪大学入学者選抜要項」を参照してください。

入学者選抜方法等

【文学部】総合型選抜

《求める学生》

文学部では、哲学・歴史学・地理学・文学・芸術学・日本学など多岐にわたる教育・研究が行われています。文学部の総合型選抜では、高等学校等でそのような文学部の学問に関連する学習・調査等の諸活動に主体的に取り組んだり、高い外国語能力を身につけたりした人で、学術研究への強い意欲と見通しを持ち、学問的知見をもってグローバル社会に貢献しようとする志の高い方々を求めます。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和7年度中に取得した者及び令和8年度中に取得した者又は取得見込みの者

2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「7. 提出書類」の(3)に該当する書類）を提出できる者
- (2) 文学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
国語	国語
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」
公民	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」
数学	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」の2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
情報	情報Ⅰ

【注意事項】

- *1：「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せは選択できません。
- *2：「理科」において、「基礎を付した科目」を選択することを原則としますが、その他の場合は以下のとおり取り扱います。
 - ①第1解答科目で「基礎を付した科目」、第2解答科目で「基礎を付していない科目」を選択した場合：「基礎を付した科目」の成績を利用。
 - ②「基礎を付していない科目」から2科目選択した場合：基礎を付していない2科目を、「基礎を付した科目」とみなし、2科目の成績を利用。
 - ③第1解答科目で「基礎を付していない科目」、第2解答科目で「基礎を付した科目」を選択した場合：受験資格なし。
 - ④「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合：受験資格なし。
- *3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。
 - ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類を50点満点で採点し、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文、面接の結果を総合して行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							提出書類	小論文	面接	総合計	
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報					
(200)	(200)	(100)	(200)	(200)	(200)	(50)	200	100	100	100	500

※情報は100点満点を50点満点に換算します。

※大学入学共通テストの配点合計950点満点を200点満点に換算します。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね75%以上であることを目安とします。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日（日）

試験内容	実施時間
小論文	9：30～11：30
面接	12：30～17：00

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
豊中キャンパス	大阪大学 全学教育講義棟C棟	豊中市待兼山町1-16

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。なお、(3)の書類については、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に該当するものに限りです。

(1) 次の①～③の書類は全員提出してください。

- ① 調査書（「1. 出願資格」(3)に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
- ② 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- ③ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

(2) 「1. 出願資格」の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及びPredicted Gradesを仮に提出してもらいますが、令和9年1月20日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

(3) 以下の項目に該当する書類を一点以上提出してください。またこれに合わせて、Web出願システムにて「活動実績報告書」を作成して提出してください。

- ① 文学部の学びに関係する探究の成果。たとえば、哲学・倫理・地理・歴史・文学・言語・芸術にかかわる探究（研究）について、A4用紙で1ページ以内にまとめた報告書及びそれを裏付ける成果物（研究レポートなど）のコピー。
- ② 卓越した活動の成果。たとえば、ボランティアやSDGsにかかわる社会活動、国際交流事業における貢献、高等学校の正課として行ったインターンシップなどの職業経験、研究会や読書会における主導的役割、プログラミングや発明などのコンクールでの実績、弁論大会やスピーチコンテスト、絵画・音楽・書道などの表現活動における実績など、アピールしたい活動について、一件につきA4用紙で1ページ以内にまとめた書類及びそれを裏付ける書類などのコピー。
- ③ 外国語に関する高い語学力を証明する書類（TOEFL、IELTS、英検、TestDaF、GoetheZertifikat、独検、DELTA、DALF、仏検、HSK、中検など）のコピー（原本提出でも可）。但しそのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。
- ④ 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が連続した15日以上）の事実を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）但し、複数回の研修の合算は認めません。移動日や研修以外の滞在は日数から除外すること。
- ⑤ 日本の大学入学共通テストに相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書のコピー
- ⑥ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている高等学校等において、SSHに関連するコースや科目を履修し、得たことを志願者がA4用紙で1ページ以内にまとめた書類（大阪大学所定様式「SGH・WWL・SSHに関する報告書」）
- ⑦ スーパーグローバルハイスクール（SGH）ネットワーク参加校において、当該ネットワークの参加要件に関する活動を通し、得たことを志願者がA4用紙で1ページ以内にまとめた書類（大阪大学所定様式「SGH・WWL・SSHに関する報告書」）
- ⑧ WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校、共同実施校及び連携校に指定されている高等学校等で行ったWWLに関連する課題研究において得たことを、志願者がA4用紙で1ページ以内にまとめた書類（大阪大学所定様式「SGH・WWL・SSHに関する報告書」）

【人間科学部】総合型選抜

《求める学生》

人間科学部は、文系の学問と理系の学問の垣根をとりはらう「文理融合」という理念を掲げ、それぞれの学生が自分の関心にしたがって多様な力を身につけることができる教育プログラムを充実させています。よって、人間科学部の総合型選抜では、高等学校等において、特定の教科の枠にとらわれない好奇心旺盛な態度（学際性）、さまざまなフィールドで実践的活動に参加する行動力（実践性）、グローバルな諸課題に積極的に関与しようとする意欲や能力（国際性）などを示す活動を行った、あるいはそうした可能性をもった学生を求めています。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和7年度中に取得した者及び令和8年度中に取得した者又は取得見込みの者

2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「7. 提出書類」の(3)に該当する書類）を提出できる者
- (2) 人間科学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
国語	国語
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」
公民	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」
	又は 物理、化学、生物、地学から1
数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
情報	情報I

【注意事項】

*1：第1解答科目の成績を利用します。

*2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類により選考を行い、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文の成績、面接の結果により行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト							提出書類	小論文	面接	総合計	
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報					
20	20	20	20	20	20	5	105	40	40	20	205

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね75%以上であることが必要です。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日（日）

試験内容	実施時間
小論文	10:00～12:00
面接	13:00～18:00

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
吹田キャンパス	大阪大学 人間科学部棟	吹田市山田丘1-2

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。
なお、(3)の書類(①を除く)については、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に該当するものに限りません。

(1) 次の①～③の書類は全員提出してください。

- ① 調査書（「1. 出願資格」(3)に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
- ② 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- ③ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

(2) 「1. 出願資格」の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及びPredicted Gradesを仮に提出してもらいますが、令和9年1月20日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

(3) 人間科学部があげるアドミッション・ポリシー及び総合型選抜で求める学生に合致する活動で、次の評価項目①～⑪のうち、異なる番号で3点以内を選択し、該当する書類を全員提出してください。但し、1つの評価項目について2つ以上の活動実績書類を提出すること、及び1つの活動実績を複数の評価項目にあてはめて提出することは認めません（次ページの（注）も参照）。

また、「活動実績報告書」（Web出願システムへ入力）を併せて提出してください。

① 次に指定する外国語に関する高い語学力を証明する書類のコピー（原本提出でも可）

但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要
（出願期間の初日から遡り2年以内に取得したものに限り）

- ・英検（方式は問わない）……………合格証明書又はCSEスコア証明書
- ・TOEFL-iBT……………スコアレポート（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
- ・IELTS Academic Module……………スコア証明書
- ・ケンブリッジ英語検定……………合格証明書
- ・GTEC……………スコア証明書
- ・TEAP……………スコア証明書
- ・TEAP CBT……………スコア証明書
- ・TOEIC L&R/TOEIC S&W（注1）……………スコア証明書
（注1）TOEICは、L&RとS&Wの2つのスコア証明書が必要です。
（注2）証明書が無いスコアは評価対象外です。

② 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が連続した15日以上）の事実を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）但し、複数回の研修の合算は認めません。移動日や研修以外の滞在は日数から除外すること。

③ 日本学生科学賞（読売新聞社等主催）、ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生・高専生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、入選した者及び最終審査会出場者（予定の者を含む）となったことを証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）

④ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）

⑤ 日本の大学入学共通テストに相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書のコピー

- ⑥ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている高等学校等において SSH に関連するコースや科目を履修し、得たこと（SSH 生徒研究発表会（文部科学省等主催）への出場含む）を志願者が A4 用紙 1 ページにまとめた書類（活動日と活動内容を明確に記載すること）（大阪大学所定様式「SGH・WWL・SSH に関する報告書」）
- ⑦ スーパーグローバルハイスクール（SGH）ネットワーク参加校において、当該ネットワークの参加要件に関する活動を通し、得たことを志願者が A4 用紙 1 ページにまとめた書類（大阪大学所定様式「SGH・WWL・SSH に関する報告書」）
- ⑧ WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校、共同実施校及び連携校に指定されている高等学校等で行った WWL に関連する課題研究において得たことを、志願者が A4 用紙 1 ページにまとめた書類（大阪大学所定様式「SGH・WWL・SSH に関する報告書」）
- ⑨ 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）
- ⑩ 高度なリーダーシップに基づいて得られた卓越した成果を客観的に証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）
- ⑪ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）

(注) 例えば、

- ・高等学校等で異なる 2 つの課題研究を行った場合、評価項目「⑨ 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）」で提出できるのは、いずれか 1 つのみです。
- ・高等学校等で 1 つの課題研究を行った場合、それが評価項目⑨及び「⑩ 高度なリーダーシップに基づいて得られた卓越した成果を客観的に証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）」に該当していても、評価項目⑨あるいは⑩を 1 つ選んで活動実績を提出してください。

【外国語学部】総合型選抜

〈求める学生〉

外国語学部総合型選抜では、高等学校等で身につけた主体的に学ぶ態度と能力に加えて、本学部で得られる世界諸地域の言語の知識に基づきながら、以下のような具体的なテーマについての学修計画を立て実行することができる人を募集します。

- ・世界諸地域の言語・文化・社会についての探究
- ・言語・文化・社会に関わる国内外の諸問題解決のための活動

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和7年度中に取得した者及び令和8年度中に取得した者又は取得見込みの者

2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者
 - ・英検（方式は問わない）（注1）……合格証明書又はCSEスコア証明書
 - ・TOEFL-iBT（注2）……スコアレポート（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
 - ・IELTS Academic Module（注2）……スコア証明書

（注1）令和6年4月1日以降に取得したもの（入学者選抜を実施する年度の2年度前の4月1日以降に取得したもの。）

（注2）出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの。
- (2) 外国語学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
国語	国語
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」
数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
情報	情報I

【注意事項】

- *1：「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せは選択できません。
- *2：「理科」において、「基礎を付した科目」を選択することを原則としますが、その他の場合は以下のとおり取り扱います。
 - ①第1解答科目で「基礎を付した科目」、第2解答科目で「基礎を付していない科目」を選択した場合：「基礎を付した科目」の成績を利用。
 - ②「基礎を付していない科目」から2科目選択した場合：基礎を付していない2科目を、「基礎を付した科目」とみなし、2科目の成績を利用。
 - ③第1解答科目で「基礎を付していない科目」、第2解答科目で「基礎を付した科目」を選択した場合：受験資格なし。
 - ④「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合：受験資格なし。
- *3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。
 - ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類により選考を行い、専攻毎に募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び口頭試問を実施します。なお、小論文(120分)は、文章読解論述型のほか、必要に応じてテーマ型など他の形式でも出題します。口頭試問は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文の成績、口頭試問の結果により行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト								提出書類	小論文	口頭試問	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計				
100	80	25	50	150	10	415	150	200	150	915	

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね75%以上、かつ外国語の得点が概ね80%以上必要です。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日(日)

試験内容	実施時間
小論文	10:00～12:00
口頭試問	13:00～(18:00頃終了予定)

6. 試験場(予定)

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
箕面キャンパス	大阪大学 外国学研究講義棟	箕面市船場東3-5-10

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

(1) 次の①～④の書類は全員提出してください。

- ① 調査書(「1. 出願資格」(3)に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出)
- ② 「2. 出願要件」の(1)に該当するスコア証明書のコピー又は合格証明書のコピー(原本提出でも可)但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。(TOEFL-ITP及びIELTSのGeneral Training Moduleの成績は利用できません。)
- ③ 学修計画書(大阪大学所定様式)(英語または志望する専攻の言語での記述も可。但し英語専攻志望者は英語で、日本語専攻志望者は日本語で記述してください。)
- ④ 志願者評価書(高等学校等の長が作成)(大阪大学所定様式)
なお、志願者評価書の内容の説明に必要な書類があれば、下記を添付書類として提出することが可能です。(但し、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に該当するものに限りです。)

・特筆すべき活動(例：探究学習成果やボランティア活動記録など)を証明する書類のコピー

・「7. 提出書類」(1)②として提出する他に、外国語に関する高い語学力(資格・検定試験のスコア証明書や合格証明書が出せない外国語を含む)を証明する書類がある場合はそのコピー(原本提出でも可)

(2) 「1. 出願資格」の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及びPredicted Gradesを仮に提出してもらいますが、令和9年1月20日(水)までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

8. 日本語専攻志願者注意事項

①日本語専攻志願者は、入学後に学びたい専攻言語（下記の24専攻言語）について、「専攻言語希望調査書」（※）に1から24までの希望順位を記入し、試験当日に必ず提出してください。

なお、この「専攻言語希望調査書」は、合格者決定の際の資料とするものではありません。

（※）「専攻言語希望調査書」は、第1次選考合格者発表日以降に外国語学部 Web サイト (<https://www.sfs.osaka-u.ac.jp/>) に掲載予定です。

②専攻言語の決定は、第2次選考の成績を利用して行います。

<専攻言語>

中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、デンマーク語、スウェーデン語、ドイツ語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語

【法学部】総合型選抜

〈求める学生〉

法学部の総合型選抜では、以下のような学生を求めています。

- ・高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語、情報について基本的な知識を有している学生。
- ・法学、政治学、経済学について主体的に学ぼうとする姿勢を持った学生。
- ・リーダーシップやグローバルなコミュニケーション能力を高めようとする意欲を持った学生。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和8年度中に取得した者又は取得見込みの者

2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 【国際公共政策学科の志願者のみ】次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者
 - ・英検（方式は問わない）（注1）…………… 合格証明書又はCSEスコア証明書
 - ・TOEFL-iBT（注2）…………… スコアレポート（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
 - ・IELTS Academic Module（注2）…………… スコア証明書
（注1）高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に取得したもの。
（注2）出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの。
- (2) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「7. 提出書類」の（3）に該当する書類）を提出できる者
- (3) 法学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	} から2
公民		
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	* 1
数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2	* 2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語から1	* 3
情報	情報I	

【注意事項】

- * 1：「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せは選択できません。
- * 2：「理科」において、「基礎を付した科目」を選択することを原則としますが、その他の場合は以下のとおり取り扱います。
 - ①第1解答科目で「基礎を付した科目」、第2解答科目で「基礎を付していない科目」を選択した場合：「基礎を付した科目」の成績を利用。
 - ②「基礎を付していない科目」から2科目選択した場合：基礎を付していない2科目を、「基礎を付した科目」とみなし、2科目の成績を利用。
 - ③第1解答科目で「基礎を付していない科目」、第2解答科目で「基礎を付した科目」を選択した場合：受験資格なし。
 - ④「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合：受験資格なし。
- * 3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。
※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類により、各学科で第1次選考を行います。

(2) 第2次選考

第2次選考は各学科で行います。出願者に対し、面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、面接の結果により行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト								提出書類	面接	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計			
(120)	(120)		(80)	(120)	(120)	(40)	160	10	30	200

※大学入学共通テストの配点合計 600 点満点を 160 点満点に換算します。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね 80%以上の者であることが必要です。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日（日）

試験内容	実施時間
面接	9：00～17：00（予定）

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
豊中キャンパス	大阪大学 豊中総合学館	豊中市待兼山町1-6

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

なお、(3) 及び (4) の書類については、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に該当するものに限りません。

(1) 次の①～④の書類は全員提出してください。

① 調査書（「1. 出願資格」(3) に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）

② 国際公共政策学科の志願者のみ提出してください。（法学科の志願者は提出不要）

「2. 出願要件」の(1)に該当するスコア証明書のコピー又は合格証明書のコピー（原本提出でも可）

但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。（TOEFL-ITP 及び IELTS の General Training Module の成績は利用できません。）

③ 志望理由書（Web 出願システムへ入力）

④ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

(2) 「1. 出願資格」の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及び Predicted Grades を仮に提出してもらいますが、令和9年1月20日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

(3) 次の①～⑨から2件（種類）以内の該当する書類を全員提出してください。

また、「活動実績報告書」（Web 出願システムへ入力）を併せて提出してください。

① 外国語に関する高い語学力を証明する書類（資格・検定試験のスコア証明書や合格証明書）のコピー（原本提出でも可）。但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。

② 海外研修又は留学（現地での実質的な研修又は留学期間が連続した15日以上）の事実を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）但し、複数回の研修の合算は認めません。移動日や研修以外の滞在は日数から除外すること。

③ 日本学術会議協力学術研究団体の学会で発表者（予定の者を含む）となったことを証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）

- ④ 日本の大学入学共通テストに相当する各国の大学入学に必要な統一試験を受験した場合は科目別の評価が記載されている試験成績証明書のコピー
 - ⑤ スーパーグローバルハイスクール（SGH）ネットワーク参加校において、当該ネットワークの参加要件に関する活動を通し、得たことを志願者が A4 用紙 1 ページにまとめた書類（大阪大学所定様式「SGH・WWL に関する報告書」）
 - ⑥ WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業の拠点校、共同実施校及び連携校に指定されている高等学校等で行った WWL に関連する課題研究において得たことを、志願者が A4 用紙 1 ページにまとめた書類（大阪大学所定様式「SGH・WWL に関する報告書」）
 - ⑦ 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）
 - ⑧ 極めて高度なリーダーシップ経験（生徒会長等）を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）
 - ⑨ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した成果を証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）
- (4) 高等学校等の正課として行われたインターンシップを行った者はそれを証明する書類（大阪大学所定様式「活動実績証明書」）とインターンシップの経験で得たことを志願者が A4 用紙 1 ページにまとめた書類（大阪大学所定様式「インターンシップに関する報告書」）を提出してください。（任意）

【経済学部】 総合型選抜

《求める学生》

経済学部のアドミッション・ポリシーでは、以下のような能力を持つ学生を求めています。

- (1) 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語、情報についての基本的な知識及び理解度を持つ学生。
- (2) 特定の分野で高い能力を持つ学生。
- (3) 経済学および経営学に関する知識を習得し、自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげる学生。

このポリシーに従い、総合型選抜においては、大学入学共通テストの成績、提出書類、及び面接の結果により、総合的に選抜を行います。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を令和7年度中に取得した者及び令和8年度中に取得した者又は取得見込みの者

2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者

- ・英検（方式は問わない）（注1）……2級以上の合格証明書
 - ・TOEFL-iBT（注2）……スコアレポート（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
 - ・IELTS Academic Module（注2）……スコア証明書
- （注1）高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に取得したもの。
 （注2）出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの。

- (2) 高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での特筆すべき活動を証明する書類（「7. 提出書類」の（3）に該当する書類）を提出できる者
- (3) 経済学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
国語	国語
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」から1
公民	
理科	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2
数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
情報	情報I

【注意事項】

- *1：第1解答科目の成績を利用します。
- *2：「理科」において、「基礎を付した科目」を選択することを原則としますが、その他の場合は以下のとおり取り扱います。
 - ①第1解答科目で「基礎を付した科目」、第2解答科目で「基礎を付していない科目」を選択した場合：「基礎を付した科目」の成績を利用。
 - ②「基礎を付していない科目」から2科目選択した場合：基礎を付していない2科目を、「基礎を付した科目」とみなし、2科目の成績を利用。
 - ③第1解答科目で「基礎を付していない科目」、第2解答科目で「基礎を付した科目」を選択した場合：受験資格なし。
 - ④「基礎を付していない科目」のみから1科目だけ選択した場合：受験資格なし。
- *3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。
 - ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類により選考を行い、募集人員の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し、面接を実施します。なお、面接は、必要に応じ、外国語により行う場合があります。第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、面接の結果により行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

配点区分	大学入学共通テスト							提出書類	面接	総合計
	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報			
A配点	25	20	10	30	10	5	100	50	50	200
B配点	10	10	20	45	10	5	100	50	50	200

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね80%以上であることが必要です。

※A配点、B配点の二つの配点区分のうち、総合計の得点がより高い配点区分により、合否判定を行います。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日（日）

試験内容	実施時間
面接	12:30～17:00

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
豊中キャンパス	大阪大学 法経講義棟	豊中市待兼山町1-7

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

(1) 次の①～④の書類は全員提出してください。

- ① 調査書（「1. 出願資格」（3）に該当する者は調査書の代わりに成績証明書を提出）
- ② 「2. 出願要件」の(1)に該当するスコア証明書のコピー又は合格証明書のコピー（原本提出でも可）
但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。（TOEFL-ITP 及び IELTS の General Training Module の成績は利用できません。）
- ③ 志望理由書（Web 出願システムへ入力）
- ④ 志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

(2) 「1. 出願資格」の(3)に該当する者は、次の書類を提出してください。

スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者は「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」。なお、取得見込みの者は、所属する高等学校等の長が発行する取得見込み証明書及び Predicted Grades を仮に提出してもらいますが、令和9年1月20日（水）までに「国際バカロレア資格証書のコピー」と「国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書の原本」を提出できない場合は、合格者判定の対象としません。

(3) 経済学部のアドミッション・ポリシー及び総合型選抜で求める学生に合致する、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に行った特筆すべき活動について「活動実績報告書」（Web 出願システムへ入力）及び「活動実績証明書」（大阪大学所定様式）を提出してください。

※「活動の概要」1種類につき、活動実績証明書が1部必要です。

【理学部】総合型選抜（研究奨励型）

〈求める学生〉

実験などを通して科学を楽しみ、高校などで自主的に研究活動を行った学生

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (4) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (5) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの

※上記出願資格（5）に該当する者は、個別の入学資格審査を行いますので、次により申請してください。

なお、審査の結果、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者に対し、「大阪大学入学資格認定書」を交付します。

- ・申請期限 令和8年8月28日（金）17時まで（郵送の場合は必着とします。）
- ・申請書類 本学ウェブサイトで申請書類を確認してください。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/shinsahoushin.html>

2. 出願要件

次の全てに該当する者とします。

- (1) 数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の学問・研究に強い興味を持つ者で、化学科の場合、次の①～⑦までのいずれかに1つ以上該当するもの、生物科学科の場合、次の①～⑧までのいずれかに1つ以上該当するもの。但し、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次での活動実績に関するものに限る。
 - ① スーパーサイエンスハイスクール（SSH）生徒研究発表会（文部科学省等主催）で、出場者となった者
 - ② 日本学生科学賞（読売新聞社等主催）で、入選した者及び最終審査会進出者となった者（予定の者を含む）
 - ③ ジャパン・サイエンス&エンジニアリング・チャレンジ（JSEC）高校生・高専生科学技術チャレンジ（朝日新聞社主催）で、最終審査会出場者となった者（予定の者を含む）
 - ④ 日本学術会議協力学術研究団体主催の学会（*）での発表者（予定の者を含む）

（*）志望する学科で指定されている学会名等は次のとおりである。

化学科：日本化学会（支部の会合を含む）
生物科学科：学会名は指定しない。

 - ⑤ グローバルサイエンスキャンパス（GSC）全国受講生研究発表会または次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLAプログラム）サイエンスカンファレンスで、出場者となった者（予定の者を含む）
 - ⑥ 高校化学グランドコンテストの出場者となった者（予定の者を含む）
 - ⑦ 大阪大学SEEDSプログラム実感コースを受講し、修了した者
 - ⑧ 数学、物理学、化学、生物学、地学など科学分野の優れた自由研究又は課題研究を行った者
- (2) 理学部の志望する学科（コース）が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学科（コース）名	教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
化学科 生物科学科 (生物科学コース)	国語	国語 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 } から1 *1
	地理歴史	
	公民	
	理科	物理、化学、生物、地学から2
	数学	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」の2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 *2	
	情報	情報Ⅰ
生物科学科 (生命学コース)	国語	国語 「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」 } から1 *1
	地理歴史	
	公民	
	理科	(物理)と(化学、生物、地学から1)の2
	数学	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」の2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 *2	
	情報	情報Ⅰ

【注意事項】

*1：第1解答科目の成績を利用します。

*2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類により選考を行います。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し口頭試問（研究成果のプレゼンテーションを含む）を実施します。口頭試問は個人ごとに行い、1人30分～1時間程度（目安としては、10分間プレゼンテーション、その後に質疑応答）とし、グループ研究の場合は、志願者個人の寄与についても評価の対象とします。なお、第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、口頭試問の結果を総合して行います。

（注意事項）

- ・研究成果のプレゼンテーションはA0（ゼロ）判1枚のポスターを準備し、口頭試問当日に持参してください。そのポスターを用いて、10分間で研究成果を発表してもらいます。
- ・第2次選考に欠席した場合、合格者判定の対象とはなりません。
- ・第2次選考には、下記のを必ず持参してください。

①プレゼンテーション用のポスター ②大阪大学総合型選抜受験票

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト								提出書類及び口頭試問	総合計
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計		
(200)	(100)	(200)	(200)	(200)	(200)	(100)	1000	100	200

※大学入学共通テストの配点1,000点満点を100点満点に換算します。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日（日）

試験内容	実施時間
口頭試問	9：00～19：00※

※詳細についてはWeb出願システムから第1次選考合格者に通知します。

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
豊中キャンパス	大阪大学 理学部棟	豊中市待兼山町1-1

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

次の(1)～(4)の書類を全員提出してください。

- (1) 志望理由書（Web 出願システムへ入力）
- (2) 研究成果概要（3種類）（大阪大学所定様式）
高等学校等において、自ら、又はグループで行った数学、物理学、化学、生物学、地学などの科学分野の研究で、出願要件とする発表会やコンテストに提出した研究内容等について、次の3種類の書類を作成してください。
 - ① 「A 研究の要旨」
研究の要旨を500字程度で作成してください。
 - ② 「B 研究の内容」
研究の内容や成果等をA4用紙片面7ページ以内で作成してください。
 - ③ 「C 研究に対する志願者の貢献度」
研究に対する志願者の貢献度（指導教員などの関わり等を含む）を記入してください。
- (3) 調査書
- (4) 出願要件有資格者の証明（大阪大学所定様式）
※活動内容を証明する書類等がある場合はそのコピーを添付してください。但しその書類は発表会やコンテストの主催者が本人又は学校に送付等したもので、志願者本人の氏名が記載されているものに限りません。

【理学部】総合型選抜（挑戦型）

〈求める学生〉

自分自身の頭脳でどこまでも粘り強く考察して真理を探究・発信したい学生

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (4) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (5) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの

※ 上記出願資格（5）に該当する者は、個別の入学資格審査を行いますので、次により申請してください。

なお、審査の結果、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者に対し、「大阪大学入学資格認定書」を交付します。

- ・申請期限 令和8年8月28日（金）17時まで（郵送の場合は必着とします。）
- ・申請書類 本学ウェブサイトにて申請書類を確認してください。

<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/faculty/shinsahoushin.html>

2. 出願要件

次の全てに該当する者としてします。

- (1) 高等学校等において、数学、物理学、化学、生物学、地学など基礎科学分野の学問・研究に強い興味を持ち、高い志を持ってそれらに自主的・意欲的に取り組むことができる者
- (2) 高等学校等において、数学科を受験する場合は数学に関連した課外活動の実績を少なくとも一つ持つ者、物理学科を受験する場合は理科または数学に関連した課外活動の実績を少なくとも一つ持つ者
- (3) 理学部の志望する学科が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

学科名	教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
数学科	国語	国語
	地理歴史	
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」
	理科	物理、化学、生物、地学から2
	数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
外国語		英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	情報	情報I
物理学科	国語	国語
	地理歴史	
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」
	理科	（物理）と（化学、生物、地学から1）の2
	数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
外国語		英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
	情報	情報I

【注意事項】

*1：第1解答科目の成績を利用します。

*2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類により選考を行います。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文と口頭試問を実施し、希望学科への適性や基礎学力、思考力を問います。

第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文、口頭試問の結果を総合して行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト								提出書類、小論文 及び口頭試問	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計		
(200)	(100)	(200)	(200)	(200)	(200)	(100)	1000	100	200

※大学入学共通テストの配点1,000点満点を100点満点に換算します。

※但し、大学入学共通テストの得点の合計が満点中概ね80%以上であることが必要です。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日（日）

試験内容	実施時間	
小論文	数学科	9:30～11:00
	物理学科	9:30～10:30
口頭試問	13:00～19:00※	

※詳細についてはWeb出願システムから第1次選考合格者に通知します。

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
豊中キャンパス	大阪大学 理学部棟	豊中市待兼山町1-1

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

次の(1)～(6)の書類を全員提出してください。

(1) 志望理由書（Web出願システムへ入力）

(2) 高等学校等で行った出願要件とする課外活動の概要（必須）（自由研究、国際科学オリンピック国内予選や各種サマープログラム参加など）（志願者が作成し、Web出願システムへ入力）

(3) その他の課外活動の実績（任意）（海外留学、社会貢献活動など）（志願者が作成し、Web出願システムへ入力）

(4) 教員（理数系に限らない）の意見書（1通以上。志願者の長所や上記(2)(3)の課外活動の内容について、本学所定の用紙に記載する）

(5) 調査書

(6) 上記(2)(3)の課外活動の実績を証明する書類のコピー

※発表資料や報告レポートなど、活動内容がわかる書類があれば、併せて提出してください。

なお、グループ研究の場合は、自分の担当部分を明記してください。

【医学部医学科】 学校推薦型選抜

〈求める学生〉

科学に強い関心と学習意欲を持ち、自ら課題を設定し創造的に挑戦できる行動力を有し、豊かな人間性を持つ人。
将来、グローバルに活躍する強い希望を持ち、医学研究者を志す方を歓迎します。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者

2. 推薦要件

次の要件に全て該当する者としします。但し、推薦人員は1校につき2名以内とします。

- (1) 医学部医学科が学校推薦型選抜で求める学生に合致する、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が本学医学部医学科で学ぶ人物として責任を持って推薦できる者
- (2) 調査書の評定平均値4.3以上の者
- (3) 医学部医学科が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
国語	国語
地理歴史	
公民	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」
理科	
数学	物理、化学、生物から2
外国語	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
情報	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 情報I

から1 *1

*2

【注意事項】

*1：第1解答科目の成績を利用します。

*2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

指定する大学入学共通テストの成績の総点が1,000点満点中概ね80%以上の者のうちから成績上位約30名までの者を第1次選考合格者としします。

なお、大学入学共通テストの配点は、素点を利用します。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し1日目に小論文を課し2日目に面接を実施します。なお、面接は志願者が提出した書類（特に、自己PR資料、志望理由書）に基づき、個人面接（30分）を2回行います。

第2次選考の最終合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類、小論文及び面接の結果を医学部医学科が学校推薦型選抜で求める学生に照らし合わせ総合的に評価します。

第2次選考の配点は、次のとおりです。

大学入学共通テスト							小論文	面接・ 提出書類	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報			
20	15	20	20	20	20	5	100	100	300

※1. 小論文（120分）の形式は、文章（英文含む）読解論述型・資料分析型・テーマ型・理科論述型など客観的評価ができるようこれらを組み合わせて出題します。

※2. 面接は、個人面接（30分）を2回行います。なお、面接の結果によって、医師及び医学研究者になる適性に欠けると判断された場合は、不合格とします。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和9年2月6日（土）・2月7日（日）

試験内容	実施時間
小論文	令和9年2月6日（土） 9：00～11：00
面接	令和9年2月7日（日） 9：30～18：00

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
吹田キャンパス	大阪大学 医学部医学科講義棟	吹田市山田丘2-2

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

(1) 次の①～③の書類は全員提出してください。

- ① 調査書
- ② 志望理由書（Web 出願システムへ入力）
- ③ 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

(2) 面接時の自己PR資料（大阪大学所定様式）

あなたが中学以降で、達成したこと、誇りとしていることなどを5件以内あげ、それを証明する物のコピーを全員提出してください。また、その活動の要約を400字以内で作成し併せて提出してください。

(例)

- ・ 公的機関等が主催する行事等において発表者となり顕著な評価を受けたことを証明する書類
- ・ 高等学校等で行った課題研究等の実績を証明する書類
- ・ スポーツ大会、コンクールなどで顕著な成績を修めた表彰状など
- ・ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した実績を証明する書類
- ・ 高い語学力を示す各種試験のスコア（TOEFL、IELTS など）

【医学部保健学科】 学校推薦型選抜

《求める学生》

(アドミッション・ポリシーより抜粋)

- (1) 高等学校等で履修する各種の学習内容を幅広く理解している人
- (2) 医療専門職として必要な自然科学の基礎的知識・理解と論理的思考力を持つ人
- (3) 基礎的語学力を有し、国際的な視野を持つ人
- (4) 保健・医療への関心を有し、課題を解決する意欲と能力を持っている人
- (5) 基本的コミュニケーション力を有し、リーダーシップを発揮する素質を有する人

学校推薦型選抜においては、特に保健・医療への関心を持ち、課題を解決する意欲と能力、基本的コミュニケーション力、リーダーシップを発揮する素質を有し、保健学の発展を目指して積極的に取り組む方を歓迎します。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者

2. 推薦要件

次の要件に全て該当する者としてします。但し、推薦人員枠は1校で本学科1専攻につき2名とします。

- (1) 医学部保健学科が学校推薦型選抜で求める学生に合致する、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 調査書の評定平均値4.0以上の者
- (3) 医学部保健学科が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	
国語	国語	*1
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	から1
公民		
理科	物理、化学、生物、地学から2	
数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2	
外国語	英語(ICプレーヤーを使用する試験を含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1	*3
情報	情報I	

【注意事項】

*1：下記「4. 選抜方法」で配点0点としている大学入学共通テストの教科・科目も、受験が必要です。

*2：第1解答科目の成績を利用します。

*3：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

大学入学共通テストの得点及び提出書類の内容に基づき、総合的に判定します。

但し、専攻ごとに募集人員の概ね5倍の数まで(20名を超える場合は、原則20名まで)を上限として、合格者判定を行います。

また、大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

専攻名	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	総合計
看護学専攻	200	100		200	200	200	40	940
放射線技術科学専攻	100	100		200	200	100	30	730
検査技術科学専攻	100	0		200	200	100	20	620

【注意事項】

配点0点としている大学入学共通テストの教科・科目も、受験が必要です。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し、看護学専攻は口頭試問、放射線技術科学専攻は面接、検査技術科学専攻は小論文及び面接（集団面接を含む）を課します。

第2次選考の最終合格者判定は、口頭試問又は面接、提出書類、大学入学共通テストの得点及び、小論文（検査技術科学専攻のみ）の結果を、医学部保健学科が求める学生に照らし合わせ総合的に評価します。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

専攻名	大学入学共通テスト								小論文	提出書類	口頭試問 面接	総合計
	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計				
看護学専攻	20	10	20	30	20	0	100		50	100	250	
放射線技術 科学専攻	15	10	25	25	25	0	100		50	50	200	
検査技術 科学専攻	0	0	50	50	0	0	100	50	50	50	250	

【注意事項】

配点0点としている大学入学共通テストの教科・科目も、受験が必要です。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和9年2月6日（土）

試験内容	実施日時
小論文（検査技術科学専攻のみ）	10:00～11:00
口頭試問又は面接（全専攻）	13:00～18:00

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
吹田キャンパス	大阪大学 医学部保健学科棟	吹田市山田丘1-7

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

(1) 次の①～③の書類は全員提出してください。

- ① 調査書
- ② 志望理由書（Web出願システムへ入力）
- ③ 推薦書・志願者評価書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

(2) 口頭試問又は面接時の自己PR資料（大阪大学所定様式）

あなたがこれまでの人生（高校時代に限定しません。）で達成したこと、誇りとしていることなどを5件以内あげ、それを証明する物のコピーを全員提出してください。また、その活動の要約を400字以内で作成し併せて提出してください。

(例)

- ・ 高い語学力を示す各種試験のスコア（TOEFL、IELTS など）
- ・ 公的機関等が主催する行事等において発表者となり顕著な評価を受けたことを証明する書類
- ・ 高等学校等で行った課題研究等の実績を証明する書類
- ・ スポーツ大会、コンクールなどで顕著な成績を修めた表彰状など
- ・ ボランティアなどの社会貢献活動で卓越した実績を証明する書類

※これらに限らず、達成したことや誇りに思うことなどが証明できるものであれば書くことができます。

【歯学部】 学校推薦型選抜

《求める学生》

歯学部は、「熱意と積極性を持って最先端の歯科医学及び歯科医療を学び、将来、日本及び世界の歯科医療あるいは歯科医学研究の牽引役となることを志す人材」を求めています。強い矜持を胸に前向きに歯学を学ぼうという人を歓迎します。

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者又は令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和7年度中に修了した者又は令和8年度中に修了又は修了見込みの者

2. 推薦要件

次の全てに該当する者とします。

なお、推薦人員枠は1校につき2名以内とします。

- (1) 歯学部が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する者で、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者
 - ・英検（方式は問わない）（注1）……………準1級以上の合格証明書
 - ・TOEFL-iBT（注2）……………4.0以上（2026年1月20日以前に受験した試験の場合、72点以上）のスコアレポート（「MyBest Scores」ではなく「Test Date Scores」により評価します。）
 - ・IELTS Academic Module（注2）……………スコア5.5以上のスコア証明書
（注1）高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に取得したもの。
（注2）出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの。
- (3) 歯学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (4) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
理科	物理、化学、生物から2
数学	「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」の2

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

提出書類の総合評価により行い、募集人員の約2.5倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対して面接を実施します。面接は、医療人になるための適性や明確な目的意識を持っている者を積極的に受け入れることを目的に行い、①全般的態度 ②受験の動機、目的、意識 ③意欲、積極性 ④協調性、柔軟性 ⑤生命科学の勉学・研究に必要な適性と能力を評価します。

面接は、個人面接を行います。なお、必要に応じ、英語により行う場合があります。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績及び面接の結果の総合評価により行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト					面接	総合計
理科		数学		合計		
第1解答科目	第2解答科目	「数学Ⅰ、数学A」	「数学Ⅱ、数学B、数学C」			
(100)	(100)	(100)	(100)	100	200	300

※大学入学共通テストの配点400点満点を100点満点に換算します。

※理科（物理、化学、生物から2）の第1解答科目、第2解答科目の合計得点、及び数学の2科目（「数学Ⅰ、数学A」と「数学Ⅱ、数学B、数学C」）の合計得点が、それぞれの教科において概ね80%以上であることが必要です。併せて、面接の得点が概ね80%以上であることが必要です。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日（日）

試験内容	実施時間
面接	9：00～19：00（予定）

（詳細は、第1次選考合格者に通知します。）

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
吹田キャンパス	大阪大学 歯学部棟	吹田市山田丘1-8

7. 提出書類

調査書は厳封のうえ提出してください。

次の(1)～(4)の書類を全員提出してください。

- (1) 自己推薦書（志願者が作成）（Web 出願システムへ入力）
- (2) 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）
- (3) 調査書
- (4) 「2. 推薦要件」の(2)に該当するスコア証明書又は合格証明書のコピー（原本提出でも可）
但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明書類が必要。（TOEFL-ITP 及び IELTS の General Training Module の成績は利用できません。）

【薬学部】 学校推薦型選抜

《求める学生》

薬学部では、幅広い薬学領域で活躍することにより社会に貢献できる人材を育成するために、論理的かつ柔軟な思考力を支える幅広い基礎知識を備え、さらに創造性豊かで何事を行うにも意欲的に取り組むことができる学生を求めます。学校推薦型選抜では、こういった薬学部のアドミッション・ポリシーに適い、さらに、大学院（博士課程）へ進学し、学部と大学院を合わせた10年間、高度な医療・薬学研究に打ち込もうという熱意があり、国際舞台で活躍できる薬の専門家（薬剤師・薬学研究者）になることを目指す学生を求めます。

学校推薦型選抜では、『先進研究コース』を選択して大学院（博士課程）へ進学し、学部と大学院を合わせた10年間、高度な医療・薬学研究に打ち込もうとする熱意があり、国際舞台で活躍できる薬の専門家（薬剤師・薬学研究者）になることを目指す学生を求めます。

なお、入学後に他コースへの変更はできません。

『先進研究コース』の詳細については、大阪大学薬学部ウェブサイトをご確認ください。

薬学部ウェブサイト（URL：<https://www.phs.osaka-u.ac.jp/school/>）

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者又は令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が指定するものを令和7年度中に修了した者又は令和8年度中に修了又は修了見込みの者

2. 推薦要件

次の全てに該当する者としします。なお、推薦人員枠は1校につき3名以内としします。

- (1) 本学部における学問・研究に強い興味を持ち、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 薬学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
国語	国語
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」、「公共、政治・経済」
公民	
理科	物理、化学、生物から2
数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
情報	情報I

から1 * 1

* 2

【注意事項】

* 1：第1解答科目の成績を利用します。

* 2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

志願者数が募集人員に対し約2倍を超えた場合は、大学入学共通テストの総点及び調査書等により、第1次選考を行います。

なお、大学入学共通テストの配点は、素点を利用します。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し小論文及び面接を実施します。

・小論文：自然科学の勉学・研究に必要な適性と能力を総合判定します。出題については、英語を使用することもあります。

・面接：面接は、人間性と創造性の豊かな薬学研究者・薬剤師としての適性をみるために行い、一般的態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性等及び提出書類の内容を含めて評価します。面接は個人面接を2回行います。

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、小論文、面接の結果により行います。

第2次選考の配点は、次のとおりとします。

大学入学共通テスト								小論文	面接	総合計
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計			
150	50	200	200	150	25	775	100	150	1,025	

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和9年2月6日（土）

試験内容	実施時間
小論文	9：30～11：00
面接	12：30～16：00

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
吹田キャンパス	大阪大学 薬学部棟	吹田市山田丘1-6

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

(1) 次の①～③の書類を全員提出してください。

① 調査書

② 自己推薦書（志願者が作成）（Web出願システムへ入力）

③ 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）

(2) 次に該当する書類があれば提出してください。

① 高等学校等で行った課題研究の実績を証明する書類

② 英語資格・検定試験（TOEFL-iBT、IELTS、英検等）の成績を証明する書類（高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次に受験したものに限る）のコピー（原本提出でも可）。但しそのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。

【工学部】学校推薦型選抜

〈求める学生〉

工学部の学校推薦型選抜では、本学部のアドミッション・ポリシーのもとに、志願する学科の専門分野を含む広い科学分野の学問・研究に強い興味を持っている人で、次のような人を求めます。

- (1) 課題を自ら発見し解決しようとする意欲に溢れた人
- (2) 高等学校等で主体的に学ぶ態度と能力を身に付けた人
- (3) グローバル社会での活躍を目指す意欲的な人
- (4) 高い英語（外国語）運用能力を身に付けている人

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者

2. 推薦要件

高等学校等の長が責任を持って推薦でき、合格した場合には入学することを確約できる者で、工学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験し、次の(1)～(5)のいずれかに該当する者。なお、推薦人員枠は1校で本学部1学科につき4名以内とします。

- (1) 高等学校等において、数学、理科（物理、化学、生物、地学）、情報及び理数など科学分野の自由研究又は課題研究を行った者（※1）
 - (2) 大阪大学 SEEDS プログラムに参加経験のある者（※2）
 - (3) 科学分野のコンテストに出場経験のある者（※3）
 - (4) 調査書の数学、理科の評定平均値がいずれも4.3以上の者
（主として専門学科において開設される教科「理数」履修者にあつては、教科「理数」全体の評定平均値ではなく、科目を数学的分野科目と理科的分野科目に区分し、数学的分野科目の評定平均値及び理科的分野科目の評定平均値がいずれも4.3以上の者（但し、教科「理数」の科目「課題研究」は、評定平均値の対象から除外するものとする。））
 - (5) 次に指定する試験のいずれかを選択し、そのスコア証明書又は合格証明書を提出できる者
 - ・ 英検（方式は問わない）…………… 準1級以上の合格証明書（高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次（但し、既卒者は高等学校第2学年以降に相当する期間）に合格）
 - ・ TOEFL-iBT …………… 4.0以上（2026年1月20日以前に受験した試験の場合、80点以上）のスコアレポート（「MyBest Scores」ではなく出願期間の初日から遡り2年以内に取得した「Test Date Scores」）
 - ・ IELTS (Academic Module) …………… スコア6.0点以上のスコア証明書（出願期間の初日から遡り2年以内に取得したもの）
- （※1）スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）による研究も含まれます。
 （※2）聴講生での参加は、これには該当しません。
 （※3）入賞者等のいない発表会等も含まれます。

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
国語	国語
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」
公民	
理科	物理、化学、生物、地学から2
数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
外国語	英語（ICプレーヤーを使用する試験を含む）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
情報	情報I

【注意事項】

- *1：第1解答科目の成績を利用します。
- *2：英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。
 ※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング（100点満点）の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

志願者数が募集人員に対し2倍を超えた学科については、書類審査により第1次選考を行います。

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し面接を実施します。

第2次選考の合格者判定は、提出書類による書類審査、面接の結果と大学入学共通テストの成績を総合して行います。

なお、面接・提出書類及び大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

但し、面接・提出書類(100点)と大学入学共通テスト(1,000点)の合計1,100点で行うのではなく、大学入学共通テストの成績は、基礎学力の確認に利用します。

面接・ 提出書類	大学入学共通テスト							
	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計
100	200	100		200	200	200	100	1,000

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和8年12月20日(日)

試験内容	実施時間
面接	9:00～18:00

6. 試験場(予定)

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
吹田キャンパス	大阪大学 工学部棟	吹田市山田丘2-1

7. 提出書類

証明書等のコピーを提出する場合は、原本証明書が必要です。また調査書は厳封のうえ提出してください。

(1) 志望理由書(Web出願システムへ入力)

(2) 推薦書(高等学校等の長が作成)(大阪大学所定様式)

(3) 研究成果概要(3種類)(大阪大学所定様式)

高等学校等において、自ら、又はグループで行った数学、理科(物理、化学、生物、地学)、情報及び理数などの科学分野の研究で、推薦要件とする発表会やコンテストに提出した研究内容等について、次の3種類の書類を作成してください。

※前記「2. 推薦要件」の(1)～(3)に該当する者のみ提出してください。

・「A 研究の要旨」

研究の要旨を500字程度で作成してください。

・「B 研究の内容」

研究の内容や成果等をA4用紙片面4ページ以内で作成してください。

・「C 研究に対する志願者の貢献度」

研究に対する志願者の貢献度(指導教員などの関わり等を含む)を記入してください。

(4) 調査書

(5) 推薦要件(2)または(3)に係る証明(大阪大学所定様式)

※前記「2. 推薦要件」の(2)～(3)に該当する者のみ提出してください。

※活動内容を証明する書類等のコピーを必要に応じ添付することができます。但しその書類は発表会やコンテストの主催者が本人又は学校に送付等したもので、志願者本人の氏名が記載されているものに限りません。

(6) 英語資格・検定試験(英検、TOEIC、TOEFL-iBT、IELTS、GTEC等)の成績を証明する書類のコピー(原本提出でも可)

・但し、そのコピーには所属する高等学校等から原本と相違無い旨の証明が必要。

・英検にあつては、「合格証明書」を提出すること。なお、高等学校在学中又は中等教育学校4～6年次(但し、既卒者は高等学校第2学年以降に相当する期間)に合格したものに限りません。

・英検以外にあつては、出願期間の初日から遡り2年以内に取得したものに限りません。

※前記「2. 推薦要件」の(5)に該当する者は提出必須です。該当しない者の提出は任意です。

8. 2年次又は3年次からの分属

2年次又は3年次から学科目及びコースに分属します。分属年次は各学科により異なります。学校推薦型選抜による入学者は、所属学科内の希望する学科目・コースへ、原則、優遇的に分属されます。

分属の詳細については、7月下旬公表予定の「総合型選抜・学校推薦型選抜 学生募集要項」を参照してください。

【基礎工学部】 学校推薦型選抜

《求める学生》

基礎工学部と志望学科のアドミッション・ポリシーで求める学生を選抜する学校推薦型選抜を行います。とくに志願する学科における学問・研究に強い興味を持ち、自ら課題を発見して柔軟に対応することができ、適切にコミュニケーションできる人を求めます。（各学科のアドミッション・ポリシーは基礎工学部のウェブサイトをご参照ください）。

<https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/examinee/school-of-engineering-science/admission-policy/>

《女性枠について》

戸籍上の性別が「女性」である者は、女性枠と一般枠を併願できます。また、どちらか一方のみでの出願も可能です。女性枠で求める人材等については、こちらからご確認ください。

<https://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/examinee/school-of-engineering-science/women/index.html>

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を令和7年度中に卒業した者及び令和8年度中に卒業又は卒業見込みの者
- (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者
- (3) 専修学校の高等課程で文部科学大臣が別に指定するものを令和7年度中に修了した者及び令和8年度中に修了又は修了見込みの者

2. 推薦要件

次の全てに該当する者とします。

なお、推薦人員枠は1校で本学部1学科につき6名以内とし、男女は各4名まで推薦できます。但し、男女いずれかのみが在学する学校においては、推薦人員枠は4名以内とします。

- (1) 志願する学科における学問・研究に強い興味を持ち、人物及び学業ともに優れ、高等学校等の長が責任を持って推薦できる者
- (2) 基礎工学部が定める令和9年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目を受験する者
- (3) 合格した場合に、必ず入学することを確約する者

3. 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

教科	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目
国語	国語
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」
公民	
理科	(物理)と(化学、生物から1)の2
数学	「数学I、数学A」と「数学II、数学B、数学C」の2
外国語	英語(ICプレーヤーを使用する試験を含む)、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1
情報	情報I

から1 * 1

* 2

【注意事項】

* 1 : 第1解答科目の成績を利用します。

* 2 : 英語を選択した場合はリーディングを150点満点、リスニングを50点満点、合計200点満点に換算して利用します。

※聴覚障がい等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

4. 選抜方法

(1) 第1次選考

大学入学共通テストの成績及び提出書類により選考を行い、募集人員（一般枠と女性枠の合計）の約2倍までの者を上限として第1次選考合格者を決定します。第1次選考の合格者判定は一般枠、女性枠に区分せず行います。なお、大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。

国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	合計
100	75	200	200	125	35	735	

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対し口頭試問を実施します。受験者の能力、適性、意欲、関心等を各学科で掲げているアドミッション・ポリシーと照らし合わせて、多面的・総合的に評価します。（各学科のアドミッション・ポリシーは基礎工学部のウェブサイトを参照してください。）

第2次選考の合格者判定は、大学入学共通テストの成績、提出書類及び口頭試問の結果を総合して行います。合格者判定は、最初に女性枠、次に一般枠の順に行います。女性枠と一般枠を併願した者が女性枠で不合格となった場合は、一般枠の合格者判定の対象になります。

なお、大学入学共通テストは、第1次選考における配点と同じです。

5. 第2次選考試験時間割

実施日：令和9年2月6日（土）

試験内容	実施時間
口頭試問	12:00～18:00

6. 試験場（予定）

試験場は以下のとおり予定しております。

地区	試験実施場所	所在地
豊中キャンパス	大阪大学 基礎工学部棟	豊中市待兼山町1-3

7. 提出書類

調査書は厳封のうえ提出してください。

次の①～③の書類を全員提出してください。

- ① 自己推薦書（志願者が作成）（Web 出願システムへ入力）
- ② 推薦書（高等学校等の長が作成）（大阪大学所定様式）
- ③ 調査書

8. 2年次からの分属

2年次からコースに分属します。

分属の詳細については、7月下旬公表予定の「総合型選抜・学校推薦型選抜 学生募集要項」を参照してください。

9. 入学後の学びについて

一般枠、女性枠のどちらで合格した場合も、入学後は区別なく同一のカリキュラムのもとで学びます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

大阪大学アドミッション・ポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等における学習を通して、確かな基礎学力及び主体的に学ぶ態度を有し、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、多様な観点からの評価を行います。

各学部アドミッション・ポリシー

文 学 部

【求める人材像】

文学部は、古今東西の思想、言語、歴史、文学、芸術の分析的かつ総合的な探求を通じて対象を本質的に理解し、そこで得られた知見をもって現代社会の諸問題の解決に積極的に取り組む人材の育成を目的としています。そのため、本学部では、大阪大学のアドミッション・ポリシーをもとに、次のような資質を備えた学生を求めています。

- (1) 高等学校等で履修する主要教科の基本的な知識。
- (2) 日本語および外国語の文章を正確に読解する能力。
- (3) 論理的に思考し、自分の考えを口頭および文章で明晰に表現する能力。
- (4) 人文学についての基本的な理解と学問探究への強い意欲。

【入学者選抜の基本方針】

本学部の入学試験では、上記の学生を多様な評価基準によって選抜するために、一般選抜、総合型選抜、私費外国人留学生特別入試を実施します。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、(1)、(2)を重視し、大学入学共通テストで国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語、情報を、個別テストでは地理歴史又は数学、外国語、国語を、それぞれ課します。(3)のうち、論理的思考力および文章表現力については、個別テストで評価します。

総合型選抜では、(3)、(4)を重視し、志望理由書や活動実績報告等の書類の提出を求め、小論文、面接を課します。(1)、(2)については、大学入学共通テストで評価します。

また、私費外国人留学生特別入試を実施し、高い日本語能力と学問探究への意欲をもつ外国人留学生を選抜します。

人間科学部

【求める人材像】

人間科学部は、大阪大学の教育目標のもと、従来の文系・理系の枠にとらわれず、つねに新たな学際的領域に視野を広げながら、「人間と人間の営む社会を科学的に考察し、人間とは何かを見つめ、人間という存在を理解し、人間らしく生きていける社会を作り出すことに貢献できる有能な人材を育成することを目的」としています。人間と社会の全体像をさまざまな側面から理解するための取り組みの中では、自然科学・社会科学・人文科学などのさまざまな手法を縦横に用います。したがって、文科系・理科系のどちらか一方の学問に偏らず高等学校等でのあらゆる普通教育科目や専門教育科目を学修し、特定の学問領域にとらわれない好奇心旺盛な態度やさまざまなフィールドで実践的活動に参加する行動力を持ち、さらにグローバルな諸課題にも積極的に関与しようとする意欲や能力を備えている学生を強く求めています。

【入学者選抜の基本方針】

人間科学部が掲げる理念である学際性・国際性・実践性を涵養する学びや活動を育成する教育プログラムを学修するために、入学者選抜にあたっては、文理融合的な学びや研究の基礎となるバランスの取れた各教科の学力、さまざまな専門分野の知識や複雑な議論を含む長文の読解力や文章分析力、自分の考えを他者に適切に伝えるための表現力、国際的なコミュニケーションの基盤となる外国語能力、さらに、自ら課題を発見し、その解決のために専門分野以外のさまざまな専門分野の他者と協働するための意欲を重視し、以下の方法により選抜します。また、グローバルで多様性のある学習環境の実現に向けて私費外国人留学生特別入試や学部英語コース特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

（一般選抜）

大学入学共通テストでは、国語、数学、地理歴史・公民、理科、外国語、情報の受験が必要です。大学入学共通テストでは、各教科のバランスの取れた基礎学力を評価します。個別テストでは、国語、数学、外国語を課します。個別テストでの国語によって、長文の読解力や表現力を評価します。数学では、統計学や情報処理の学修に必要な数学の基礎学力と数学的思考方に基づいた論理的思考力を評価します。外国語では、英語の基本学力や読解力とともに、英語による表現力を評価します。

（総合型選抜）

志望理由及び高等学校在学期間に相当する期間に行った特筆すべき活動内容について調査書、志望理由書、活動実績報告書などから第一次選考（書類選考）として評価し、第一次選考合格者には、小論文と面接を課すことで、表現力、課題探究力（実践力）、協調性と学習意欲などを評価します。そして、一般選抜と同様の大学入学共通テストの試験科目を課すことにより基礎学力を評価し、多面的で総合的な選抜を行います。

（3年次編入）

大学・短大・高専での多様な学問領域を一定程度学修し、それらの成果を発揮しつつ、本学部が求める人間や社会への学際的・国際的な洞察や実践的活動を可能とするような学生を選抜します。

外国語学部

【求める人材像】

外国語学部は、大阪大学の教育目標のもと、世界の諸地域の言語に関する教育を出発点とし、言語を基底として営まれる文化や社会について、理論と実際にわたって教授することを通じて、国際社会の様々な場面で通用する高度な言語運用能力と世界に関する幅広い知識を有し、異文化理解力をとおして人類と世界に貢献することのできる人材を養成することを目的としています。

この目的に沿って、外国語学部は、世界諸地域の言語、文化、社会に対する強い関心を持つ、次のような学生を募集します。

- (1) さまざまな文化背景を持つ人とコミュニケーションする能力を身につけたい人。
- (2) 世界諸地域の言語や文化、社会に関する専門的な知識を身につけたい人。
- (3) 言語を十二分に駆使して、世界諸地域の文化や社会の研究をしたい人。
- (4) 異文化間の対話と相互理解を深める架け橋になりたい人。
- (5) 世界的規模の諸問題を解決するため、国際的な活動や協力を推進したい人。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れるため、一般選抜と総合型選抜の入試を行います。これに加えて、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、3年次編入学試験を実施し、グローバルで多様な学生を求めます。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、大学入学共通テストと個別テストをとおして、国語、社会（地理歴史、公民）、理科、数学、外国語、情報に関する知識と理解度を判定します。
2. 総合型選抜では、高等学校等の調査書もしくは国際バカロレア資格証書・成績証明書、TOEFL等の検定試験の成績証明書、学修計画書、高等学校等の長の責任のもと作成する志願者評価書（志願者の多様な資質に関する記述及びその関連書類を含む）、さらに、小論文、口頭試問、大学入学共通テストをとおして、多角的、総合的に合否判定を行います。
3. 帰国生徒特別入試では、外国語と国語の筆記試験と口頭試問を実施し、外国語学部における学修に必要な外国語能力と論理的思考力を身につけているかを判定します。
4. 私費外国人留学生特別入試では、日本留学試験の成績、英語と日本語の筆記試験および口頭試問をとおして、外国語学部における学修に必要な日本語能力と論理的思考力を身につけているかを判定します。
5. 3年次編入学試験では、筆記試験（志願する専攻言語）と口述試験をとおして、3年次編入に相応しい学力を有しているかを判断します。

注：上記の入試における英語の試験ではリスニングテストを行います（総合型選抜を除く）

法 学 部

【求める人材像】

法学部では、大阪大学のアドミッション・ポリシーのもと、法学部の教育目標に定める人材を育成するため、基礎学力・理解力・論理的思考力・表現力・構想力を有した人材を求めています。

- (1) 基礎学力：高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報についての基本的な知識があり、基本的な問題の解決に利用することができる。
- (2) 理解力：物事を深く、多面的に理解することができる。
- (3) 論理的思考力：論理的に思考することができる。
- (4) 表現力：論理的な思考の過程を自分の言葉で表現することができる。
- (5) 構想力：問題を発見し、その解決策を構想することができる。

【入学者選抜の基本方針】

法学部は、上記のような人材を受け入れるため、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と総合型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、大学入学共通テストの成績で基礎学力・理解力・論理的思考力を備えているかを、2次試験の成績で基礎学力・理解力・論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、それぞれ判定し、これらの成績をあわせて評価します。

総合型選抜では、共通テストの成績で基礎学力・理解力・論理的思考力を備えているかを、面接試験の成績で理解力・論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、書類審査の成績で論理的思考力・表現力・構想力を備えているかを、それぞれ判定し、これらの成績をあわせて評価します。

留学生については私費外国人留学生特別入試を行い、同様の目的から、筆記試験（小論文）と面接試験を実施します。

法学科の3年次編入試験では、同様の目的から、筆記試験（英語・小論文）と書類審査を実施します。

経済学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受け、経済学部は、経済学および経営学に関する知識を忍耐強く習得し、自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげてくれる人材を求めます。具体的には、以下のような能力・資質を持った人材を求めています。

- (1) 探求心：経済学および経営学に関する知識を習得する
- (2) 社会に対する関心：自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげる
- (3) 基礎学力（全般）：高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語、情報についての基本的な知識及び理解度を持つ
- (4) 基礎学力（特定の分野）：特定の分野で高い能力を持つ

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、総合的知識・能力をバランスよく持った人材、専門的知識・能力に特に秀でた人材、探求心や主体性が特に優れた人材などを適切に評価できるよう、国内の学生においては一般選抜と総合型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜においては、上記の求める資質・能力を、大学入学共通テストで（3）、個別テストで（4）を中心に評価し、判定します。
また、理科系志望も含む多様な人材を選抜するため、入学試験における評価の対象となる大学入学共通テスト科目について多様な試験科目の選択を認め、高等学校等において理数系科目を重点的に学んできた人材についても個別テストへの門戸を開きます。さらに、総合的な能力を持つ人材だけでなく、特定の分野で高い能力を持つ人材を選抜するため、大学入学共通テストと個別テストの総合判定において複数の科目配点方法を採用し、総合点の評価とともに、特定の科目における優秀な成績を評価に入れます。
2. 総合型選抜においては、上記の求める資質・能力を、大学入学共通テストで（3）、面接で（1）～（4）、提出書類で（1）～（4）を中心に評価し、判定します。
3. 私費外国人留学生特別入試においては、（1）～（4）について提出書類、筆記試験および口頭試問により評価し、判定します。
4. 3年次編入学試験においては、（1）～（4）について提出書類および口頭試問により評価し、判定します。

理 学 部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受けて、理学部では教育目標に定める人材として相応しい、下記のような人を求めています。

- (1) 高等学校等における教育課程を修了し、もしくは同等の能力を身につけている人。
- (2) 幅広い自然科学の基礎知識と応用力に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝える力を持ち合わせた人。
- (3) 自然科学に知的好奇心を持ち、自ら強く考察して真理を探究・発信することに喜びを感じる人。
- (4) 科学の素養を背景にして、国際社会に幅広く貢献したい人。

【入学者選抜の基本方針】

上記の人材を多様な方法で選抜するため、下記の一般選抜と2種類の総合型選抜を実施します。これらの入試においては、(1)の高等学校卒業相当の学力を重視しますので、大学入学共通テスト(国語、数学、外国語、理科2科目、地理歴史・公民1科目、情報)を課します。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、より高度な学力の習熟度・応用力を測るため、また、(2)の広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝える力を持ち合わせた人を選抜するために、高度な記述式の数学、理科の個別テストを行います。また、(4)の国際社会への貢献に必要な英語の学力を、高度な記述式の試験により評価します。

総合型選抜(研究奨励型)では、(3)の自然科学に対する知的好奇心を有する人を選抜するために、高等学校等での研究活動を重視し、書類審査で活動内容を、また面接試験で研究に対する姿勢を評価します。

総合型選抜(挑戦型)では、書類審査で高等学校等での課外活動から(4)の社会貢献の意欲を評価し、さらに(3)の自ら強く考察して真理を探究・発信することに喜びを感じる人を選抜するために、難易度の高い課題を課した面接を実施します。

また、特別入試(帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、国際科学特別入試)では、日本の高等学校の枠組みを離れ、(2)～(4)の能力を有する人を、学力試験と面接試験によって選抜します。

医学部医学科

【求める人材像】

医学部医学科では、地域医療に貢献する人材や、世界をリードする医師・研究者を養成することを教育目標とし、これを実現するため、以下のような資質・能力を持った学生を受け入れます。

- (1) 高度な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を持ち、組織においてリーダーシップを発揮できる者
- (2) 医学科の教育課程を履修するに必要な高度な学力、知性、語学力および情報活用能力を有する者
- (3) 医学の進歩に貢献するとの強い信念を持ち、それを実現する行動力を有する者
- (4) 多様な価値観を受け入れる柔軟性と知への探究心、自由で豊かな発想力を持ち、創造性を発揮できる者
- (5) 社会における自らの役割を理解し、協調性と責任感をもってそれに貢献する意欲のある者

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。

また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試を行い、医学とその他の関連学問分野との融合を図るため、学士編入学試験を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(2)、(3)を重視し、大学入学共通テストで(2)を、個別テストで(2)を、面接において(1)、(3)、(4)、(5)に関する資質を評価し、選抜を行います。
2. 学校推薦型選抜では、特に(1)、(4)を重視し、大学入学共通テストで(2)を、面接で(1)、(3)、(4)、(5)を、小論文で(2)、(3)、(4)を、調査書で(1)、(2)、(3)、(5)を、推薦書で(1)、(2)、(3)、(5)を評価し総合的に判定します。

医学部保健学科

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、医学部保健学科では国内外の研究・実践・教育の場で、専門性と語学力を基盤としたリーダーシップを発揮し、専門領域の確固たる資格と自信を持ち、人に対して温かい目を持つ医療人を育成するために、以下のような資質を有する学生を受け入れます。

- (1) 高等学校等で履修する各種の学習内容を幅広く理解している人
- (2) 医療専門職として必要な自然科学の基礎的知識・理解と論理的思考力を持つ人
- (3) 基礎的語学力を有し、国際的な視野を持つ人
- (4) 保健・医療への関心を有し、課題を解決する意欲と能力を持っている人
- (5) 基本的コミュニケーション力を有し、リーダーシップを発揮する素質を有する人

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(1)～(3)を重視した評価を行います。すなわち、(1)に対して大学入学共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語、情報を課す一方で、個別テストでは理科、数学、外国語の記述式問題により(2)、(3)に関する能力を評価します。
2. 学校推薦型選抜では、特に(4)、(5)を重視した評価を行います。すなわち、(1)～(3)に対して大学入学共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語、情報を課すことにより学力を担保し、調査書等の出願者が提出する資料等と面接試験により、(4)、(5)に対する能力と資質を重視した配点を採用します。

歯 学 部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、歯学部では生命科学および健康科学に貢献できる創造性と主体性、さらに多様な価値観を尊重できる柔軟性を備えるとともに、最先端の歯科医学と歯科医療に関する知識と技術の修得に意欲的に取り組み、次世代の歯科医学研究、歯科医療を牽引できるリーダーを目指す意欲に満ちた、以下のような能力・資質を備えた人を受け入れます。

- (1) 他人に対する思いやりの心を有している人
- (2) 生命、医療に強い関心をもっている人
- (3) 自らの考えを論理的に伝えることができる人
- (4) 高等学校等にて習得すべき基礎学力を有している人
- (5) 歯学部での学修に必要な理科、数学、外国語の各科目について十分な知識を有している人
- (6) 自立的な問題解決能力を涵養している人
- (7) 世界に目を向け、健康科学の発展に貢献しようという意欲のある人

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜では、特に(5)及び(6)を重視した評価を行います。すなわち、(4)に対して共通テストにて国語、地理歴史・公民、理科、数学、英語、情報を課す一方で、二次試験では理科、数学、外国語の記述式問題により(5)及び(6)に関する能力を評価します。さらに、面接試験によって(1)、(2)、(3)、(7)に関する能力を評価します。
2. 学校推薦型選抜では、特に(2)、(3)、(7)を重視した評価を行います。すなわち、(4)に対して共通テストにて理科、数学を課します。その際、(5)に対する能力を重視した配点を採用します。さらに、面接試験及び推薦書によって(1)、(2)、(3)、(6)、(7)に関する能力を評価するとともに、(5)に対しては英語資格、(3)、(7)に対しては自己推薦書による評価も併せて行います。

薬 学 部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもと、薬学部では、学習目標に定める「高度な専門性と深い学識」、「教養」、「国際性」及び「デザイン力」を身につけることにより、医薬品の創成とその適正な使用法の確立、生活環境の安全・安心の確保等を通じて人類の健康に奉仕し、豊かな社会の発展に貢献することができる人材を育成するために、ヒトの健康・医療・福祉の課題や問題点を理解し、その解決に向けて生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学の基礎研究、臨床研究に打ち込み、薬学の発展に寄与する熱意と志を有する学生を求めています。そのために、高校卒業までに修得してほしい資質・能力として以下の点を挙げます。

- (1) 入学後の生命科学、創薬科学、社会・環境薬学、医療・臨床薬学等に関する「高度な専門性と深い学識」を修得するために必要な幅広い基礎学力を有する（高等学校等での履修教科全般における基礎的な知識・技能）
- (2) ヒトの健康・医療・福祉における課題や問題点に深い関心を持ち、これらを複眼的に理解し、その解決に向けた論理的な考察ができる（思考力及び判断力）
- (3) 他者と積極的かつ協調性を持って関わり、相互理解を得ることができるコミュニケーション能力を有する（表現力）
- (4) 目的意識を持って主体的かつ積極的に修学を進め、課題解決を通して社会に貢献する意欲と使命感を有する（主体的に学習に取り組む態度）
- (5) 薬学を修学し、将来医療・臨床に携わる者にふさわしい人間性と倫理観を有する
- (6) 世界を視野に入れた異文化社会に関心を持ち、積極的な関わりを志向する意欲を有する

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

求める人材像の資質・能力を適切に評価し選抜を行うために、

1. 一般選抜においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。
大学入学共通テスト：(1)、個別テスト：(1) (2)、面接・口頭試問：(3) (4) (5)、小論文：(2) (4)、調査書：(1)～(6)
2. 学校推薦型選抜においては、以下の方法を用いて上記の資質・能力を評価し、判定します。
大学入学共通テスト：(1)、面接・口頭試問：(2) (3) (4) (5)、小論文：(2) (4)、調査書：(1)～(6)、推薦書・その他の提出書類：(1)～(6)

工 学 部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、工学部では、人類社会の現状と将来について深い関心を持ち、その課題発見と解決に貢献しようとする意欲に溢れ、次のような資質を持つ人を求めています。

- (1) 高等学校等における各種の学習内容を幅広く理解している。
- (2) 工学の基礎学問である高等学校等における数学、理科を深く論理的に理解している。
- (3) 自分の考えを的確に伝えるための表現力を身につけている。
- (4) 広い観点から主体的に問題に取り組み、論理的に考察することができる。
- (5) 基本的なコミュニケーション力を身につけている。

【入学者選抜の基本方針】

本学部の入学試験では、上記の人材を選抜するために、一般選抜および学校推薦型選抜という全く選考方法の異なる入試により、多元的な評価尺度で多様な観点からの評価を実施します。

【具体的選抜方法と資質・能力との関係】

1. 一般選抜および学校推薦型選抜ともに、(1)については、大学入学共通テストにおける国語、地理歴史・公民、理科、数学、外国語、情報により評価します。
2. 一般選抜においては、理科、数学、外国語を課すことで(2)を評価し、高度な記述式問題により(3)、(4)に優れた能力を有している人を選抜します。
3. 学校推薦型選抜においては、書類審査と面接試験により(2)～(5)、特に(3)～(5)を重視した選抜を行います。
4. 帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試、高等専門学校から本学部3年次への編入学試験を実施し、学力検査と面接試験の組み合わせにより、(2)～(5)の能力を評価し、多様で優れた人材を見出します。

基礎工学部

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、基礎工学部の理念である「科学と技術の融合による科学技術の根本的解決及びそれにより人類の真の文化を創造する」ことに共感する、次のような能力、資質を持つ人を求めています。

- (1) 基礎学力：高等学校等における各科目の学習内容を幅広く理解しており、特に、数学、理科を高度に習得している。
- (2) 思考力：科学と技術に関する基礎的な知識、技能にもとづき、問題を多角的に捉え、柔軟な発想から筋道を立てて考察できる。
- (3) 表現力：自分の考えを論理的に説明できる。
- (4) 国際性：外国語を高度に習得しており、異なる言語・文化をもつ様々な人たちと相違を超えて対話、交流できる。
- (5) 探究心：科学や技術に関する深い関心と興味を持ち、新しい分野の開拓に主体的かつ積極的に挑戦する意欲がある。
- (6) コミュニケーション力：さまざまな考えの人たちの意見にも耳を傾けて対話できる。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、国内の学生においては一般選抜と学校推薦型選抜による入試、さらに高等専門学校からの編入学試験を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試を行います。

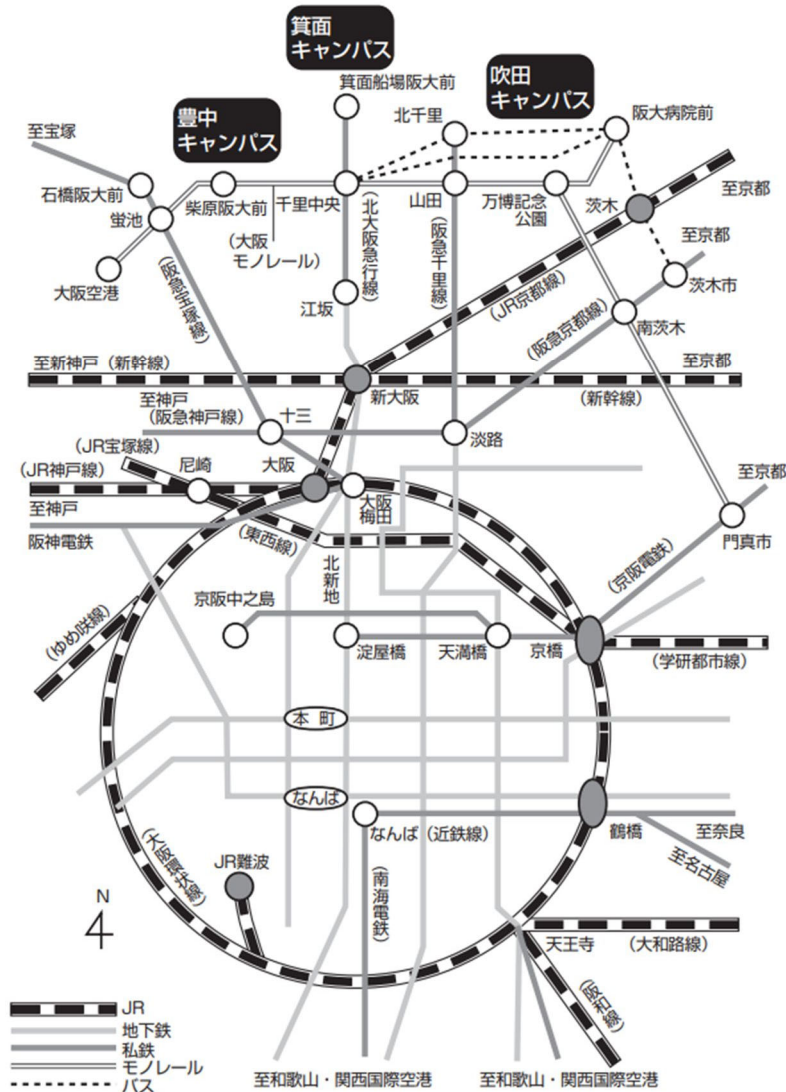
【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

共通テストでは6教科8科目の、また、一般選抜では特に理科、数学、外国語の試験を課すことで(1)～(4)の能力を評価します。また、学校推薦型選抜では、共通テストに加えて調査書、推薦書ならびに口頭試問を実施することにより、(5)、(6)を重視した優れた学生を選抜しています。さらに、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試などの特別入試、高等専門学校から本学部3年次への編入学試験では、(1)～(6)に優れた能力を有している多様な学生を選抜しています。

学部等所在地・配置図

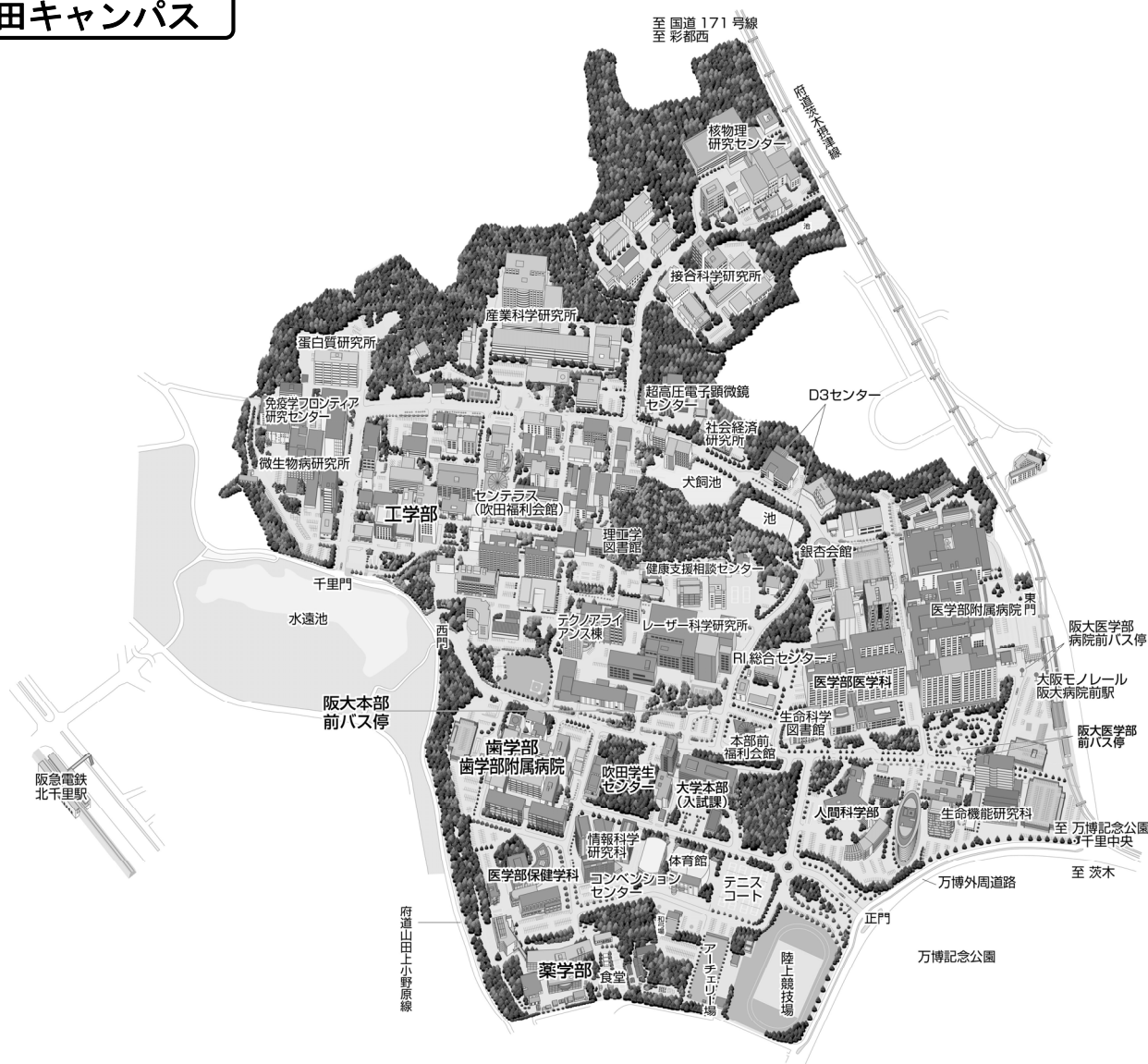
地区	学部等名	所在地	配置図
吹田 キャンパス	入試課	〒565-0871 吹田市山田丘 1-1	50 ページ 参照
	人間科学部	〒565-0871 吹田市山田丘 1-2	
	薬学部	〒565-0871 吹田市山田丘 1-6	
	工学部	〒565-0871 吹田市山田丘 2-1	
	医学部(医学科)	〒565-0871 吹田市山田丘 2-2	
	医学部(保健学科)	〒565-0871 吹田市山田丘 1-7	
	歯学部	〒565-0871 吹田市山田丘 1-8	
豊中 キャンパス	文学部	〒560-8532 豊中市待兼山町 1-5	51 ページ 参照
	法学部	〒560-0043 豊中市待兼山町 1-6	
	経済学部	〒560-0043 豊中市待兼山町 1-7	
	理学部	〒560-0043 豊中市待兼山町 1-1	
	基礎工学部	〒560-8531 豊中市待兼山町 1-3	
箕面 キャンパス	外国語学部	〒562-8678 箕面市船場東 3-5-10	52 ページ 参照

交通案内



学部等配置図

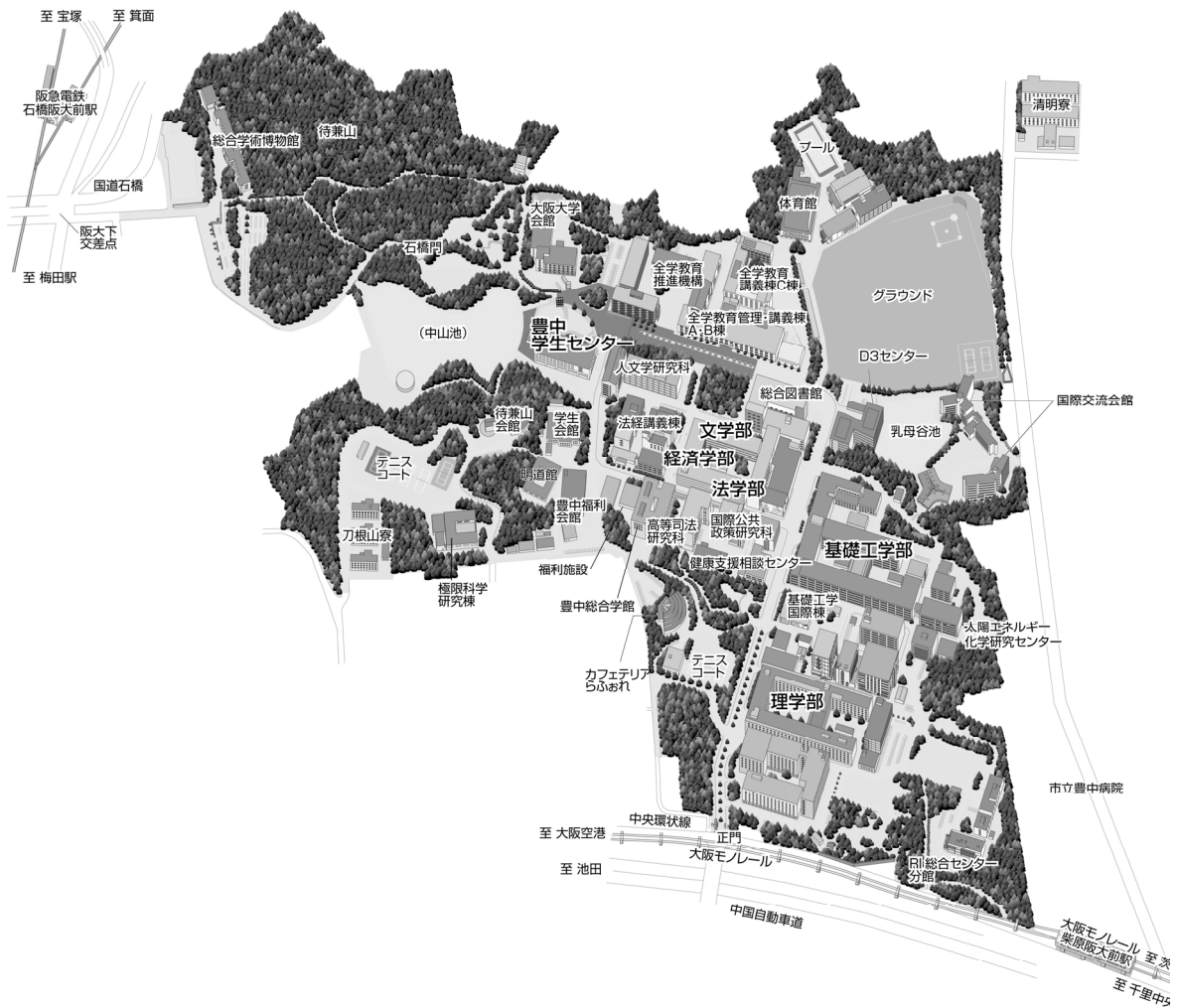
吹田キャンパス



○利用交通機関

- [バ ス] 阪急バス 千里中央発「阪大本部前行」または「阪大歯学部病院前行」
 阪急北千里駅発「阪大病院線」
 近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR 茨木駅経由)
 いずれも、阪大医学部前または阪大本部前下車、徒歩約5分～15分
- [モノレール] 大阪モノレール 阪大病院前駅 下車 西へ徒歩
 医学部(医学科) ……………約5分
 入試課、人間科学部 ……………約10分
 医学部(保健学科)、歯学部、薬学部、工学部 ……………約15分
- [電 車] 阪急電鉄千里線 北千里駅(終点)下車 東へ徒歩
 工学部 ……………約15分
 歯学部、薬学部、医学部(保健学科) ……………約25分
 入試課、人間科学部、医学部(医学科) ……………約30分

豊中キャンパス



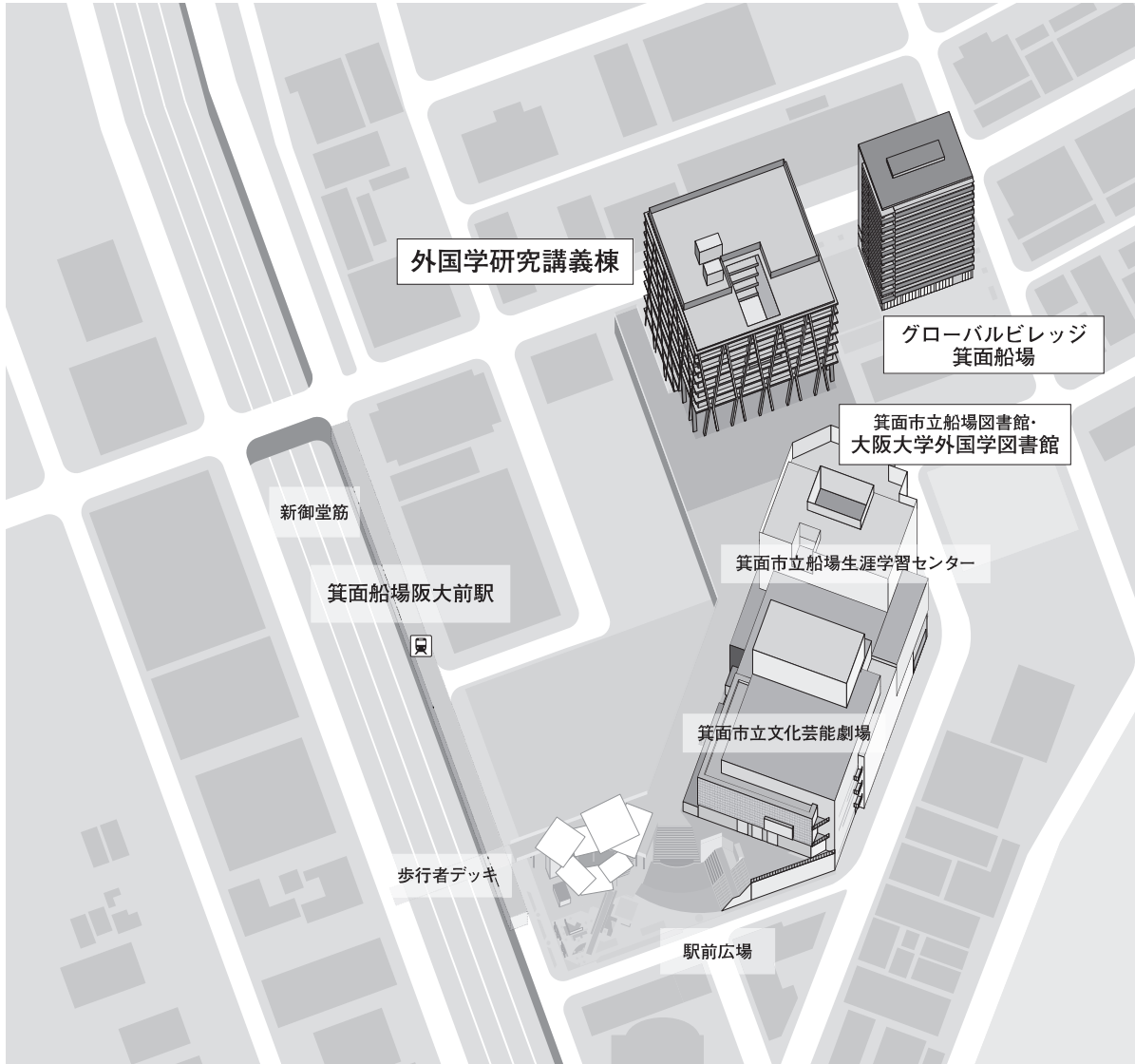
○利用交通機関

〔電 車〕 阪急電鉄宝塚線 石橋阪大前駅下車 東へ徒歩
 全学教育推進機構 ……………約 15 分
 文学部、法学部、経済学部 ……………約 20 分
 理学部、基礎工学部 ……………約 25 分

〔モノレール〕 大阪モノレール 柴原阪大前駅下車 西へ徒歩
 理学部、基礎工学部 ……………約 7 分
 文学部、法学部、経済学部 ……………約 10 分
 全学教育推進機構 ……………約 15 分

箕面キャンパス（外国語学部）

【注】一般選抜前期日程、帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試の外国語学部の試験場は豊中キャンパスを予定しています。



○利用交通機関

〔電 車〕北大阪急行電鉄 箕面船場阪大前駅下車 徒歩約3分